

「かながわ
国会
情報」

朝霞住宅への批判

「早く気付く
方法あった」

みんな・中西氏に財務相

事業の必要性に与野党か



ら批判が上が
り、中止が決
まった国家公
務員宿舎朝霞
住宅（埼玉県

朝霞市）建設に対し、安住
淳財務相は6日、「建設が
批判の対象になることに早
い段階で気付いてもよかつ
た」と述べた。同日の参院
財政金融委員会ではみんなの

党の中西健治氏（神奈川選
挙区）に「写真」に答えた。

中西氏は、ことし9月の

本会議で野田佳彦首相が

「必要な宿舎として朝霞住

宅の事業再開を決定してい

る」と答弁したものの、翌

10月には事業凍結を指示し

たことを問題視。「判断を

間違えた」という認識を総理

が持ったということか」と

ただした。

安住氏は「一定の宿舎は

必要で、朝霞も十数戸ある

宿舎を1戸にまとめるのは

合理的。ただ新たな建設が

国民から見ると批判の対象に

なることに、もう少し早い

段階で気付く方法もあっ

た」と答弁した。中止によ

る違約金金額も今後公表す
る考えを示した。

朝霞住宅は、2009年

11月の事業仕分けで「全面

的に凍結」と勧告された後、

10年に当時財務相だった野

田首相が凍結を解除、東日

本大震災を受けてことし10

月、5年間の凍結を安住氏

に指示していた。

（佐本 真里）